

(健脚・中級向き) 約 19km

高野参詣道ウォーキング

世界遺産黒河道

太閤道とくどやま森の童話館の桜

標高差 800m、一部に道幅が狭いなど、歩行に注意を要する箇所があります。基本下りですが、途中 150m ほどの山越えもあります。

世界遺産の高野参詣道で高野七口の一つ黒河道を歩き、高野山から峠越えを重ねて山麓の橋本まで、豊臣秀吉の高野参詣後の帰途を辿ります。昼休憩の「くどやま森の童話館」の山桜は例年、山麓より 1 週間ほど遅れて見頃を迎えます。

令和 7 年 4 月 1 2 日 (土) 少雨決行 (荒天等翌日順延の場合あり)

集合 : 高野町役場前 9 時 3 0 分 (受付 9 時 0 0 分~)

解散 : 定福寺 1 6 時 3 0 分頃 (最寄駅 : 南海電鉄/紀伊清水駅)

定員 : 2 0 名 (予約申し込み順、×切 3 月 3 1 日)

参加費 : 2,000 円 当日払い (記念品、資料代、障害保険料等)

電話または Email で住所・氏名・年齢・携帯番号をお知らせください。

申し込み・問合せ先 : 高野七口再生保存会 (事務局 : 児玉)

電話 : 070-2614-9671 Email : echo@r.sannet.ne.jp

黒河道 (太閤道)

黒河口に至る高野参詣道で、奈良方面の参詣客が多く利用したことから大和口とも呼ばれた。橋本 (和歌山県橋本市) からの近道とされます。文禄 3 年 (1594) 3 月、豊臣秀吉が高野参詣の帰途この道を用いたことが「紀伊続風土記」などの文献にあります。